

登録コード:MH423200 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目 必修
科目名	老年期作業療法学Ⅰ【20M以降】 Geriatric occupational therapyⅠ		
担当教員	務臺 均		
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	作業療法学専攻／2年生 後期 火曜・4時限		
単位数、講義室	1 単位	保健学科1 2 1 講義室 保健学科診断訓練実習室	遠隔授業科目
信大コンピテンシー	該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素	⇔	授業の達成目標
	MH20カリ・保健		
	保健・医療において生じている現象を分析し、健康問題を解決するために必要な科学的根拠に基づいた判断の進め方について理解することができる。	⇔	地域包括ケアシステムについて説明ができ、その中における作業療法の役割が説明できる。
	保健・医療の専門職者として必要な感性を磨き、基本的知識・技術を獲得して、さまざまな状況で活用できる。	⇔	高齢者を取り巻く社会状況を理解し、高齢者の特徴を捉え、高齢者多い疾患とそれに対応した作業療法の知識・技術を修得することができる。
	MH25カリ・保健・作業、MH23カリ・保健・作業		
	≪基礎的・専門的な知識と技能≫保健・医療専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。	⇔	地域包括ケアシステムについて説明ができ、その中における作業療法の役割が説明できる。老年期の作業療法の役割と機能を理解し説明ができる。高齢者に適した安全な動作支援を理解し説明・実践ができる。高齢者の退院支援について理解し説明ができる。
授業で学べる「テーマ」	健康長寿		
全学横断特別教育プログラム			
授業概要	高齢者を取り巻く社会状況や社会施策および高齢者に特徴的な心身機能・構造、活動、参加、環境について学習する。高齢者の作業療法を計画・実践するための基本的知識・技能について学習する。 本授業は、1年次に学んだ「生理学」「解剖学」「作業療法学概論」、2年次前期に学んだ「内科学」「日常生活支援論」「高齢者リハビリテーション概論」「整形外科学」の知識が前提となります。そして、本授業の内容は、3年次前期に学ぶ「老年期作業療法学Ⅱ」「作業療法評価学実習」および4年次の「臨床実習」における重要な基礎知識・技術となります。 本授業は、担当教員の医療機関における作業療法士としての実務経験を活かして講義を行います。また、男女共同参画に関する内容を含んでいます。		
授業計画	第1回（9月29日）高齢社会の特徴と課題、老年期の作業療法 第2回（10月6日）老年期の特徴① 小テスト 第3回（10月13日）老年期の特徴② 小テスト 第4回（10月20日）高齢者の動作支援① 第5回（10月27日）高齢者の動作支援② 第6回（11月10日）高齢者の動作支援③ 第7回（11月17日）地域の活動① 第8回（11月24日）低栄養・摂食・嚥下障害 小テスト 第9回（12月1日）転倒・寝たきり・廃用症候群 小テスト 第10回（12月8日）排泄障害 小テスト 第11回（12月15日）地域包括ケアシステムと地域の活動② 第12回（12月22日）高齢者の在宅復帰支援 小テスト 第13回（1月5日）高齢期作業療法の実践過程、実践事例① 小テスト 第14回（1月12日）実践事例② 第15回（1月19日）実践事例③、授業アンケートの実施 第16回（1月26日）期末試験		
授業の進め方	・主は教科書、資料を用いた講義形式です。高齢者の動作支援は実習形式、実践事例は演習形式で行います。 ・毎回の授業のはじめに小テストを行います。復習部分から出題します。1・2回目は小テスト無で3回目に1回目と2回目の分を行います。5～7回の授業の前には小テストを行いません。4回目の内容については8回目に小テストを行います。8～13回は小テストを行います。14、15回は小テストを行いません。 ・第5回～7回の高齢者の動作支援の授業は保健学科北校舎4階の看護学実習室Ⅰで行います。実習のため、動きやすい服装でてください。看護専攻の授業との兼ね合いで、看護学実習室Ⅰを使用できる日が変更となる場合がありますので、その際は授業の内容が入れ替わります。追って連絡をしますのご承知おきください。 ・第10回目には、SITの留学生との国際交流プログラムとなる可能性があります。授業の枠を2限に変更するかもしれません。詳細は追って連絡します。 ・第14、15回の実践事例のときは、パソコンを使用して演習を行いますので、自分のパソコンを持ってきてください。 ・授業のスケジュール、資料、変更があった場合等の連絡についてはe-ALPSにも掲載しますので、そちらも授業の前に必ず確認してください。		

テキスト，教材，参考書	教科書 ・田平隆行（編）：老年期障害作業療法学テキスト 南江堂 2025 その他資料を配付
成績評価の方法	小テスト（50%）と期末試験1月27日（50%）を合計して成績を評価する．小テストは授業で教えた内容の復習部分から出題する．小テストは復習部分から出題します．期末試験については，授業で教えた内容，授業で用いた教科書，参考書，資料およびそれらに関連する内容を出題する． 達成目標の1～3については小テストおよび期末試験にて確認する．行動目標の4については実習中および期末試験にて確認する．
成績評価の基準	これらの採点の基準は，達成目標に関連した設問に対する選択肢解答の正誤だけでなく，記述式解答における用語の適切さ，説明内容の範囲の広さや詳細さ，説明内容の論理的な妥当性などを指標とし，授業で説明した範囲における最低限の解答内容であれば「水準にある（可）」，やや詳細な解答内容であれば「やや上にある（良）」，十分に詳細な解答内容であれば「かなり上にある（優）」，授業で説明した範囲以上に自身で能動的に学修した詳細な解答内容であれば「卓越している（秀）」と判定します． 成績の基準は以下の通りとします． 90-100点：秀 80-89点：優 70-79点：良 60-69点：可
事前事後学習の内容	【事前学習について】 1回目の事前学習は，教科書「高齢期作業療法学」の1～16ページを熟読してきてください．それ以降は，適宜授業の中でお知らせします．基本的には授業の範囲の教科書を熟読してくる課題となります． 【事後学習について】 毎回，授業のはじめに，前回の授業の要点について復習テストを行いますので，授業で配布した資料や授業で実施した教科書の範囲を十分に復習してください． 本授業の単位修得には45時間の学習が必要であるため，以下のような学習時間を必要とします． 授業時間30時間（2時間×15回）＋自己学習時間15時間（1時間×15回）＝45時間
学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	質問・相談は教員が南校舎2階務台研究室に在室の場合は，随時受け付けます．またEメールでの質問やアポイントの連絡も随時受け付けます． Eメールアドレス（務台）：hitmutai@shinshu-u.ac.jp